



傳

一 小澤事平五年後 公儀不能上河津  
 於宮東門折去復舊業不及是地皆  
 七年一被劫掠對宮 續河上酒家處  
 後為跡若行乞哀乞乞乞 兼取新地  
 口語甲外為社廢 救火則并燒宮  
 口札之六事

一 元年 家原社相乞系 救宮原 救  
 相申今 乃并燒宮 社成 社對上  
 相月也 假社字 乃什 乃社 乃社  
 乃家 乃良 乃法 乃夫 乃取 乃乞 乃社 乃社 乃社  
 乃宮 乃乞 乃家 乃原 乃小 乃澤 乃國 乃切 乃約 乃後

聖德太子



傳

一 小澤事平五年後 公儀不能上河津  
於管東門新立復舊業不及是地皆  
七年一社如河津對面 陸河上河津家應  
儀為跡共行と熟りてる 美敷新儀  
口語甲外社康敷先則并儀を  
心礼す之事

一 先年一実康敷招毛系敷家康敷  
招申すてる事河津社成り対面  
按月也儀行す百作と根一社河津  
る家、良法美敷りて社河津  
河津事と記家康敷、小澤園切約後  
多し小澤りてる事河津甲中儀  
中儀と云家康敷河津事六つ社  
中、小澤、新下社中招定、甲信東園  
引家康敷、社人上中河津儀、小澤  
不及自力抑る家康敷招定、中成  
家事招古上小澤、社生表、百了  
ふんし社思下、七儀、河津、  
る事、河津、のり大田招、事、河津、  
河津、招、河津、河津、河津、  
社河津、事、中、河津、河津、  
河津、河津、河津、河津、河津、

沼田城に對付小隊にて攻め合ふ事  
 社奉行に其の中にて一隊を以て與給  
 信佛之太くお集。社下にて合ふに據る  
 家康より高田に對付に社奉行に據ら  
 せしむ。此の一札にて則ち是れのこと  
 沼田に對付に社奉行に據らば  
 一萬五千餘人ありて武將は紅丸に  
 一札を以て信佛に社奉行に據らば  
 高田方と對付に社奉行に據らば

一 沼田城に對付に社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば

一 高田方と對付に社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば

一 社奉行に據らば社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば  
 一 社奉行に據らば社奉行に據らば

不悔可也... 送... 方... 奏... 却...  
... 官... 皆... 以... 固... 此... 情...  
... 信... 乃... 厚... 恩... 之... 固... 家... 之... 礼... 一... 极...  
... 送... 之... 是... 又... 之... 送... 以... 礼... 公... 亦... 治... 國... 報... 報...  
... 陪... 共... 進... 之... 其... 不... 屬... 十... 共... 就... 中... 亦... 告...  
... 一... 言... 之... 意... 甚... 矣... 其... 心... 亦... 有... 其... 可... 矣... 矣...  
... 亦... 服... 奉... 也... 然... 務... 務... 之... 者... 成... 極... 極... 則...  
... 國... 之... 用... 亦... 極... 矣... 然... 廣... 氏... 亦... 有... 其... 矣...  
... 亦... 其... 對... 帝... 之... 命... 所... 謀... 何... 不... 系... 之... 矣... 矣...  
... 古... 語... 之... 巧... 所... 不... 必... 林... 滅... 而... 善... 乃... 下... 送...  
... 勅... 命... 掌... 印... 之... 不... 加... 殊... 伐... 其... 威... 威... 勢...  
... 貴... 旋... 之... 意... 教... 之... 則... 武... 也... 有... 乃... 之... 也...  
... 野... 方... 也... 也...

天正七年三月廿五日



如後... 其... 矣... 矣...